UX “F SPORT PARTS (MODELLISTA)”

フロント スポイラー　取付要領書

品番　D2531-58810-XX
品番　MSD41-76001/2-XX

設定型式:MZA#1#/KMA10　　設定グレード:除く F-SPORT

このたびは、モデリスタ商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
本書は、**フロントスポイラー**の取付要領について記載してあります。
取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付けを行なって下さい。

取り付け上の注意事項

★ 本商品は登録後架装を前提としています。

■取り付ける前に車両に傷がついていないか点検して下さい。
■エンジンがかかっている状態では絶対に作業を行なわないで下さい。
■車両部品の取り外しに際して、紛失や混乱がない様に部品ごとに整理して、復元する際、間違えない様に配慮して下さい。また、部品に傷を付けたりしない様に取り扱いに注意して作業を行なって下さい。
■本書で指示した部品以外は、取り外さない様に注意して下さい。
■商品の仮合せ時等においては、マスキングテープ等で車両側への傷付き防止策を行なった上で実施下さい。
■**フロントスポイラー**を取り付ける部分の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで拭き取って下さい。
■エンドモール(両面テープ付き)・両面テープを貼り付ける部分は、**必ず脱脂して下さい**。脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれる場合があります。
■両面テープの接着力促進剤として、**必ず両面テープ用プライマーを塗って下さい**。
(**PACプライマーK500**を本品に添付)
重要 プライマーの効力を発揮させる為、塗布後、**常温で１０分間以上放置し乾燥させて下さい**。
重要■両面テープは、外気温が**１５℃以下になると接着力が低下します**ので、両面テープ及び被接着面をドライヤー等で温めてから貼り付け作業を行なって下さい。
■両面テープのプライマーは、特に白色塗装面を黄変させますので必ず塗装面をマスキングし、はみだしたプライマーは、アルコール等で完全に拭き取って下さい。
■**ボディーコートが塗布されている車両は塗装用コンパウンドでボディーコートを剥離して下さい**。（必ずマスキングし、なるべく細かい番手で行なう。）ボディーコートが塗布されている車両は脱脂作業を行なっても、プライマーの接着力促進効果を充分に発揮できない場合があります。ボディーコート除去後は、アルコール等で脱脂をきちんと行なって下さい。
重要■両面テープの圧着を十分に行なって下さい。49N(5kgf)以上
重要■**フロントスポイラー**固定用の**ビス本締めは両面テープ貼り付け後３時間以上放置後**行なって下さい。

取り付け完了後の点検・注意事項

■**フロントスポイラー**が、車両バンパーに確実に共締めされているか点検して下さい。
■両面テープの全ての離型紙が剥がされ、確実に圧着されているか点検して下さい。
■取り付け完了後、**フロントスポイラー**及び車両部品に傷がついていないか点検して下さい。
■取り付け完了後、**最低３時間**は強い力をかけたり、雨等で濡れない様注意して下さい。
(両面テープの剥がれ、車両バンパーと**フロントスポイラー**との間に隙間が発生する恐れがあります。)

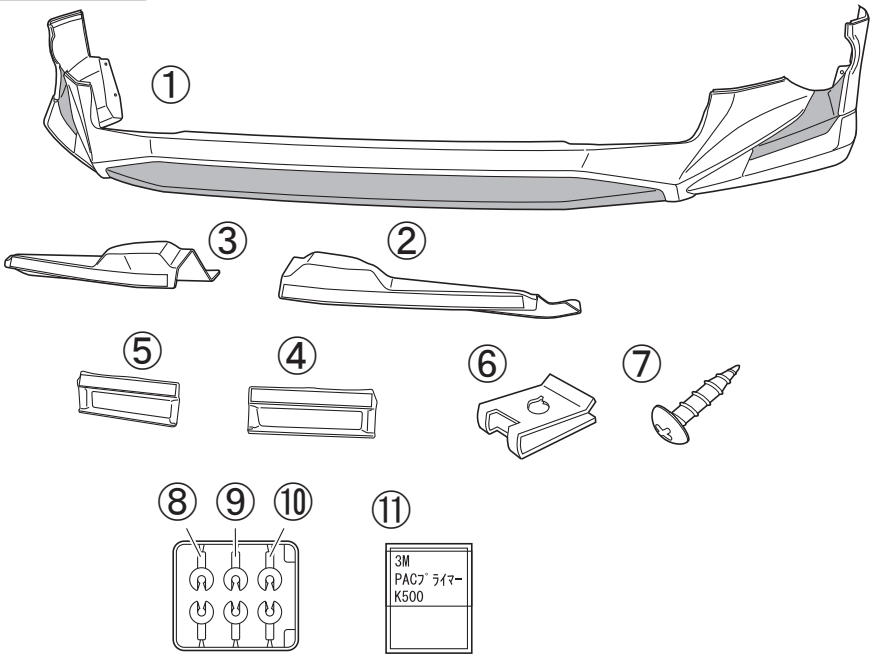
アドバイス…この取付要領書では、スピーディーに安全な作業をして頂く上で知っておいて頂きたい事を左図マークで表示しております。

UX “F SPORT PARTS (MODELLISTA)”

フロント スポイラー

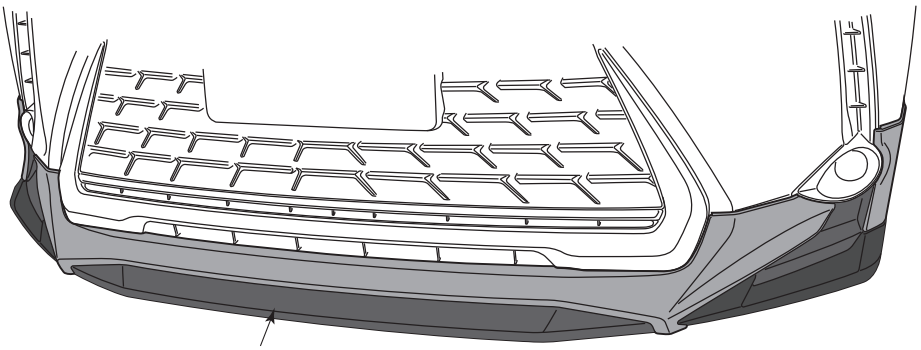
（品番：D2531-58810-XX）
（品番：MSD41-76001/2-XX）

構成部品



No.	品　　名	個数
①	フロントスポイラー	1
②	リテーナー01:LH	1
③	リテーナー01:RH	1
④	リテーナー02:LH	1
⑤	リテーナー02:RH	1
⑥	Jナット M5	4
⑦	トラスタッピングスクリュー M5×16	4
⑧	つまみ付スペーサー(1mm)	4
⑨	つまみ付スペーサー(2mm)	4
⑩	つまみ付スペーサー(3mm)	4
⑪	PACプライマーK500	1

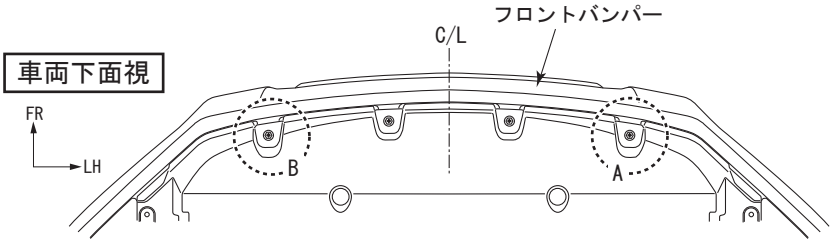
取り付け概要



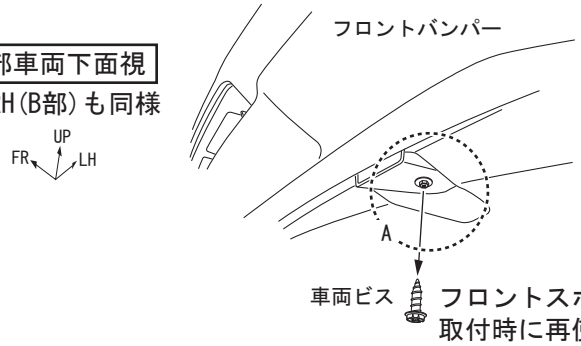
取　付　手　順

(1)取り付け準備

車両下面視



A部車両下面視
※RH(B部)も同様

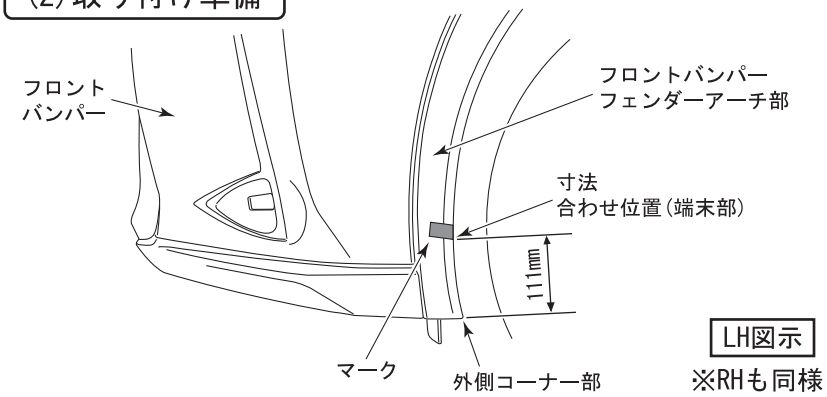


1. フロントバンパー下面のアンダーカバーを固定している、左図A,B部の車両ビスを取り外す。　(左右各1カ所　計2カ所)

アドバイス

・取り外した車両ビスは再使用しますので、紛失しない様ご注意下さい。

(2)取り付け準備



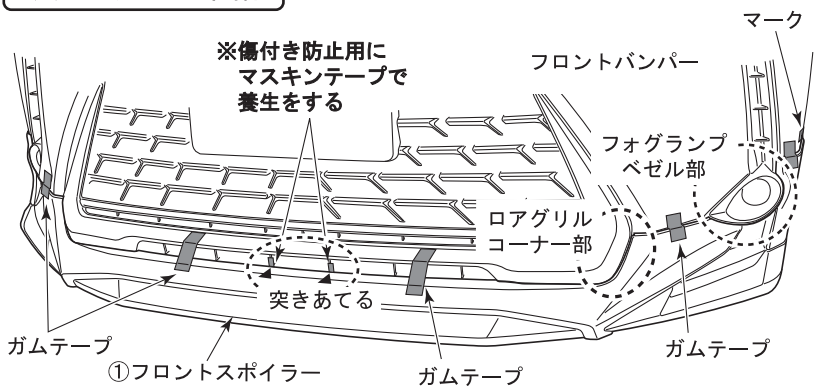
LH図示
※RHも同様

1. 左図参考寸法に従い、フロントバンパーフェンダーアーチ部にマスキングテープでマークする。

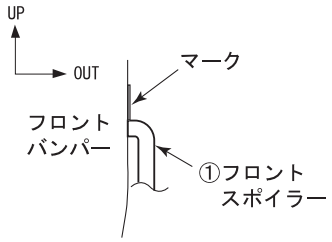
アドバイス

・左図寸法を参考に、左右のバランスを考慮して合わせ、マークして下さい。

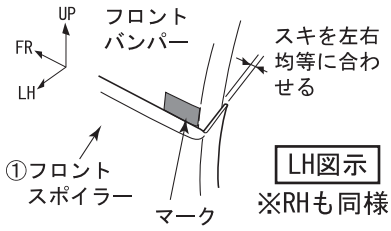
(3)取り付け準備



マーク部断面図

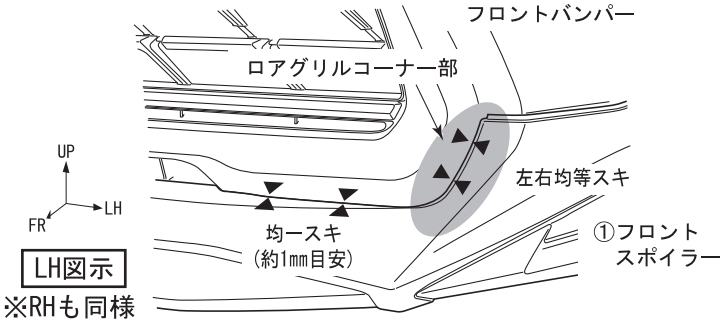


ホイールハウス部詳細図



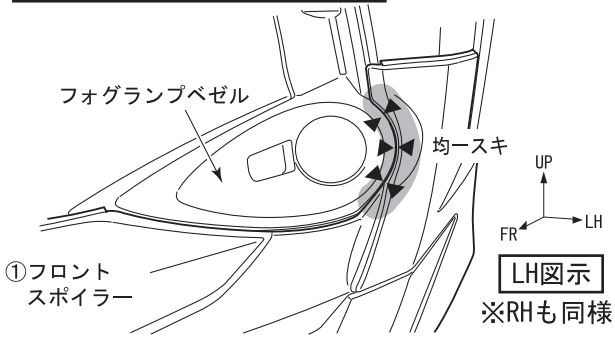
LH図示
※RHも同様

ロアグリルコーナー部詳細図



LH図示
※RHも同様

フォグランプベゼル部詳細図



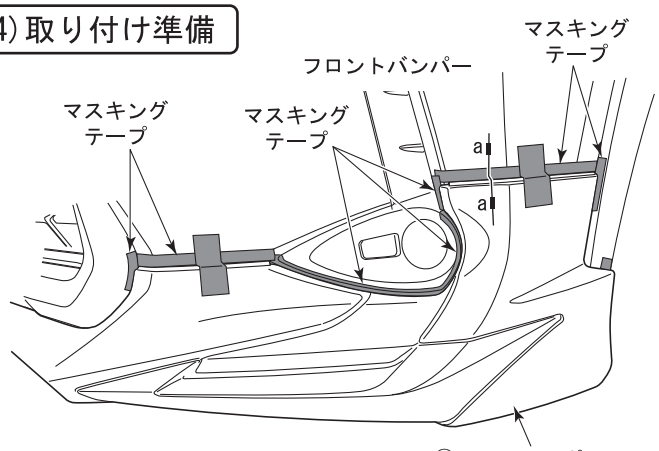
LH図示
※RHも同様

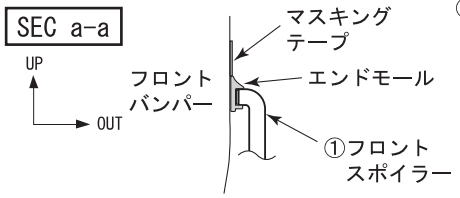
1. ①フロントスポイラーをフロントバンパーフェンダーアーチのマーク位置に合わせて仮あてをし、ガムテープで仮固定する。

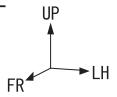
アドバイス

・位置決めの際、ホイールハウス部及びロアグリルコーナー部の左右のスキを均等にして下さい。

(4)取り付け準備



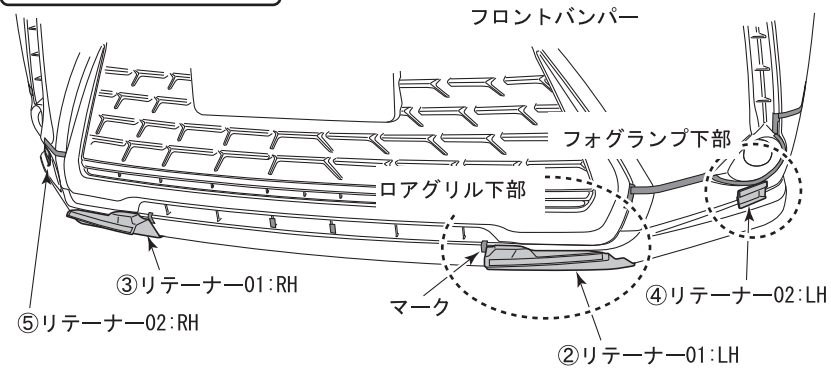




LH図示
※RHも同様

1. プライマー塗布の為に、①フロントスポイラーの上部に貼り付けてあるエンドモール上端及び端末に合わせてマスキングテープでマスキングする。
2. ①フロントスポイラーを一旦取り外す。

(5)取り付け準備

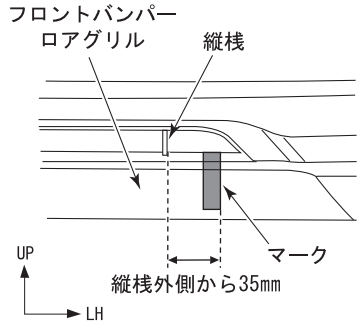


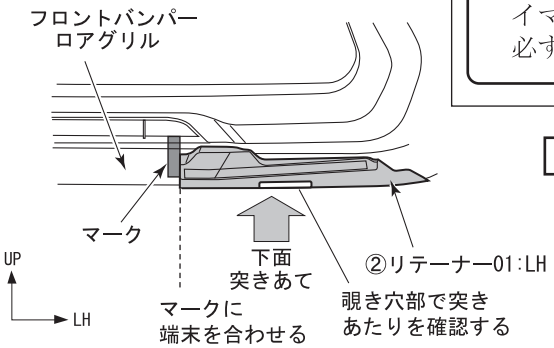
1. フロントバンパーロアグリル下部の図示位置へ左図の要領でマスキングテープでマークする。
2. ②リテーナー01:LHをマーク位置に合わせてあてがい、取り付け位置及び、両面テープのプライマー塗布範囲を確認する。
3. 同様に④リテーナー02:LHをフロントバンパーフォグランプ下部の取り付け部に図示の要領であてがい、取り付け位置及び、両面テープのプライマー塗布範囲を確認する。

アドバイス

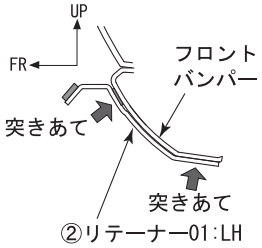
- リテーナーの左右を間違えない様にLH、RHの刻印を確認して下さい。
- 両面テープ接着範囲へは後の工程でプライマーを塗布します。
  必ず位置確認を行なって下さい。

ロアグリル下部正面視

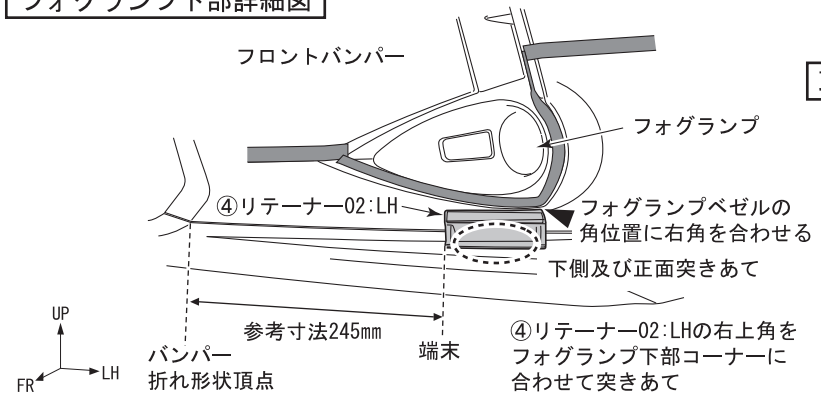




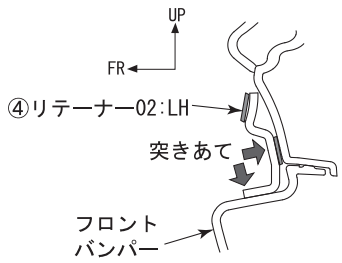
取付部段面図



フォグランプ下部詳細図

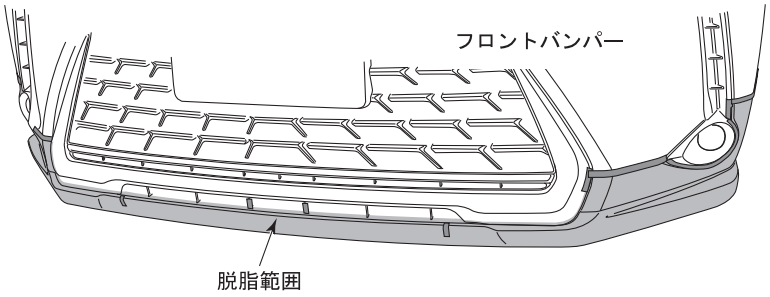


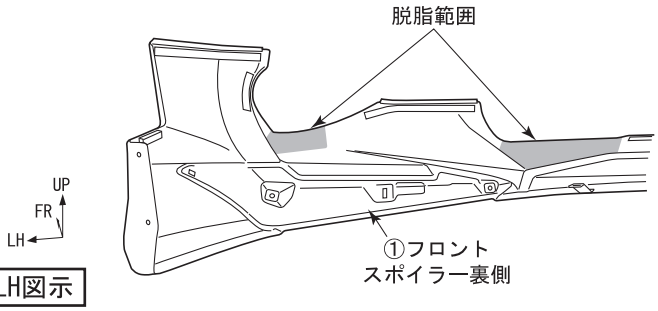
取付部段面図



LH図示
※RHも同様

(6)取り付け準備

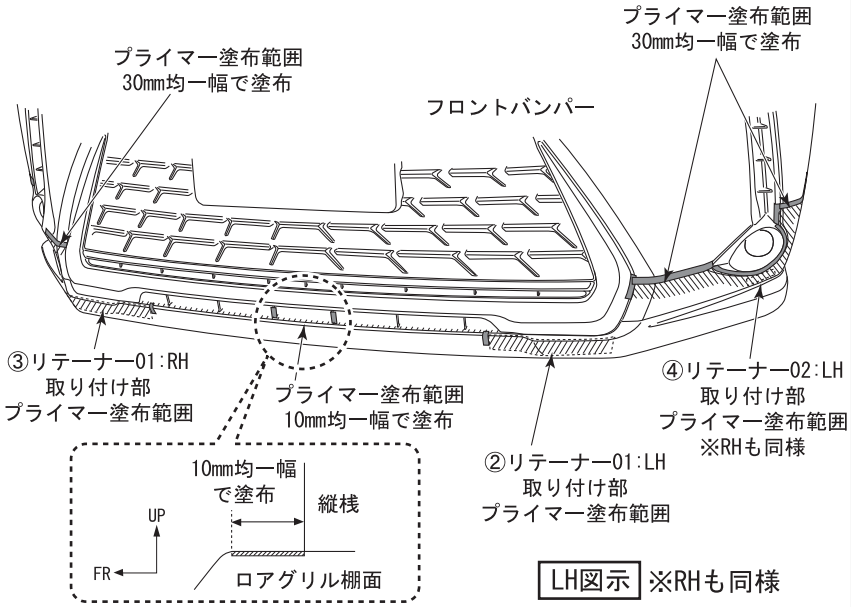




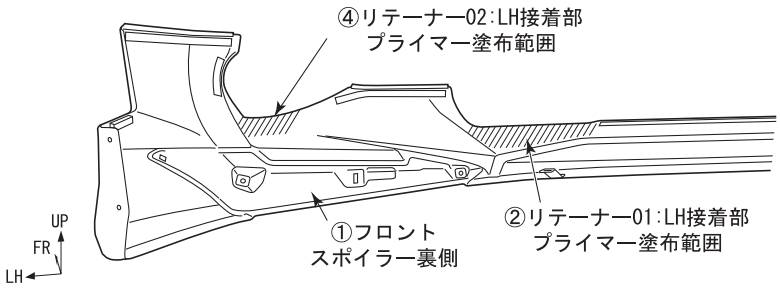
LH図示
※RHも同様

1. 左図 ■ 部を脱脂する。

(7)取り付け準備



LH図示 ※RHも同様



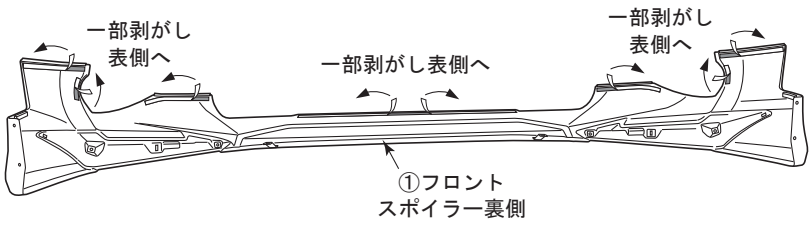
LH図示
※RHも同様

1. フロントバンパー及び、①フロントスポイラー裏側の両面テープ貼り付け部(左図斜線部)に⑪PACプライマーK500を塗布する。
2. ⑪PACプライマーK500塗布後、マスキングテープは①フロントスポイラー取り付け時にマークになりますので、剥がさないで下さい。

アドバイス

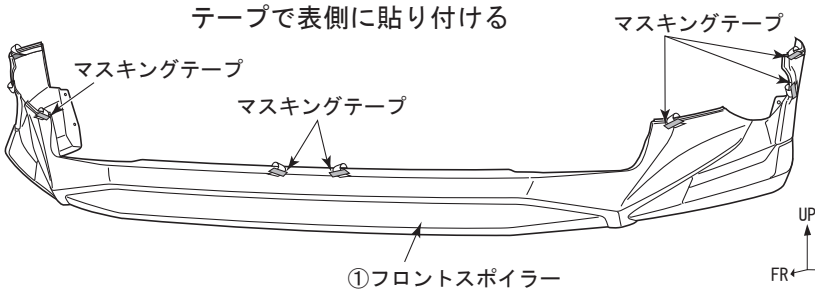
- **⑪PACプライマーK500**は特に**白色塗装面を黄変**させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーは、アルコール等で拭き取って下さい。
- **⑪PACプライマーK500**塗布後は、**常温で10分間以上**放置し乾燥させて下さい。
- ボディーコート処理されている車両は、マスキングをして両面テープ貼り付け部を塗装用コンパウンドで除去して下さい。
- リテーナー取り付け部も**⑪PACプライマーK500**を必ず塗布して下さい。

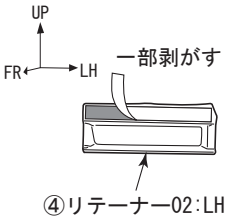
(8)取り付け準備

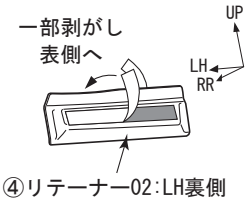


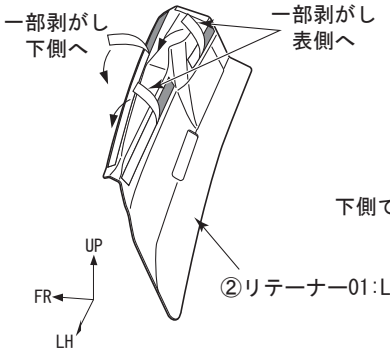
1. ①フロントスポイラーの両面テープ離型紙を一部剥がし、表面に折り返してマスキングテープで貼り付ける。
2. ②リテーナー01:LH、④リテーナー02:LHの両面テープ離型紙を一部剥がし、図示要領でマスキングテープで貼り付ける。
   その際、④リテーナー02:LHの表側両面テープ離型紙はマスキングテープで固定せず、半分剥がした状態にしておく。

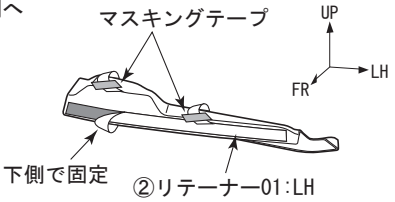
両面テープ離型紙をマスキング
テープで表側に貼り付ける

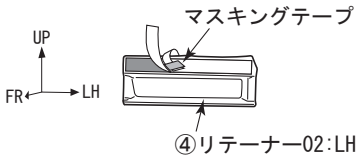










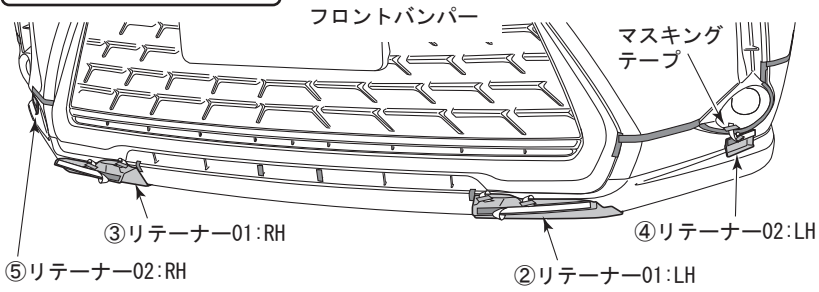


※裏側のテープのみ表側へ
マスキングテープで固定

LH図示 ※RHも同様

LH図示
※RHも同様

(9)取り付け準備

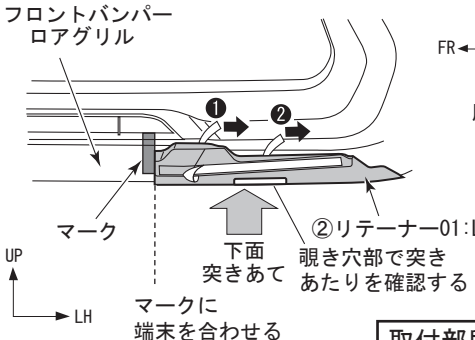


1. ②リテーナー01:LHを左図要領で合わせ、両面テープ離型紙を図示の方向へ引き抜きながら圧着する。圧着後、ロアグリル下部へマークしたマスキングテープを剥がす。
2. ④リテーナー02:LHを左図要領で合わせ、両面テープ離型紙を図示の方向へ引き抜きながら圧着する。圧着後、表側の両面テープ離型紙をフォグランプベゼル部にマスキングテープで固定する。

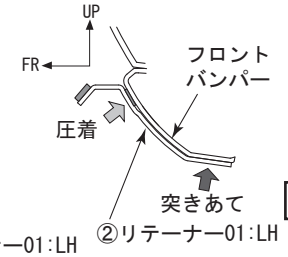
アドバイス
- 両面テープの圧着力は49N(5kgf)以上で行なって下さい。

重要
3. 浮き、剥がれ、傷等が無い事を確認し、**再圧着**する。

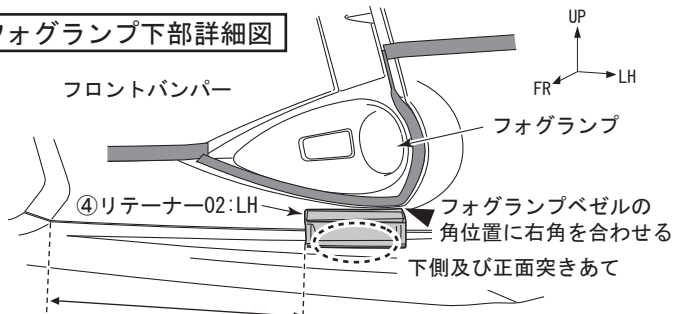
ロアグリル下部正面視



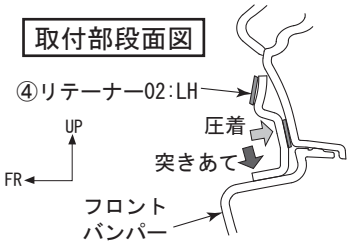
取付部段面図



フォグランプ下部詳細図

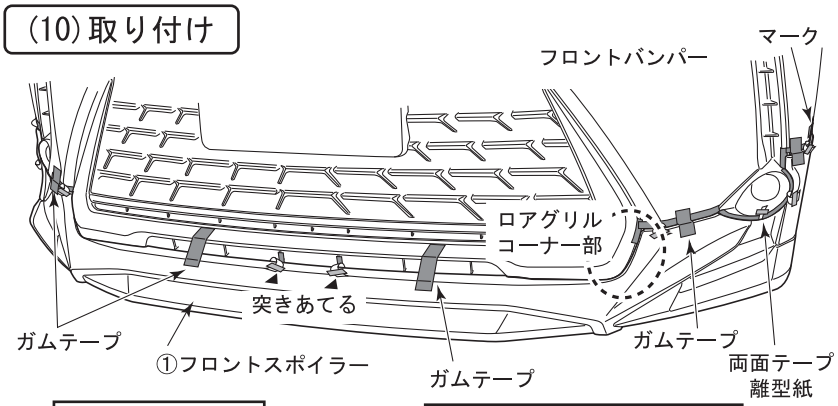


取付部段面図

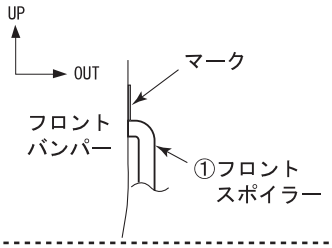


LH図示 ※RHも同様

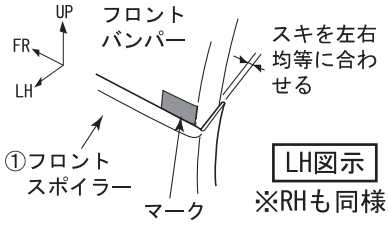
(10)取り付け



マーク部断面図

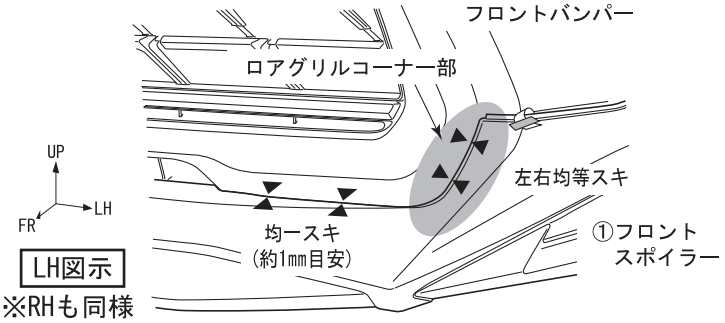


ホイールハウス部詳細図



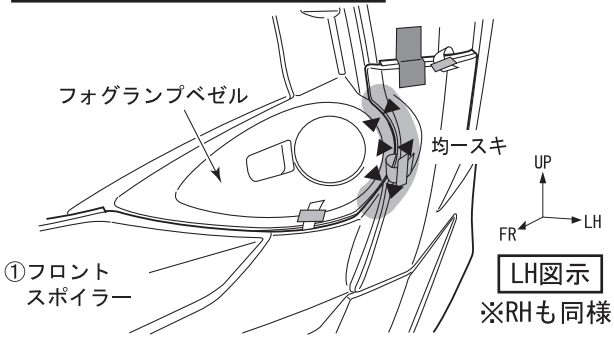
LH図示
※RHも同様

ロアグリルコーナー部詳細図



LH図示
※RHも同様

フォグランプベゼル部詳細図



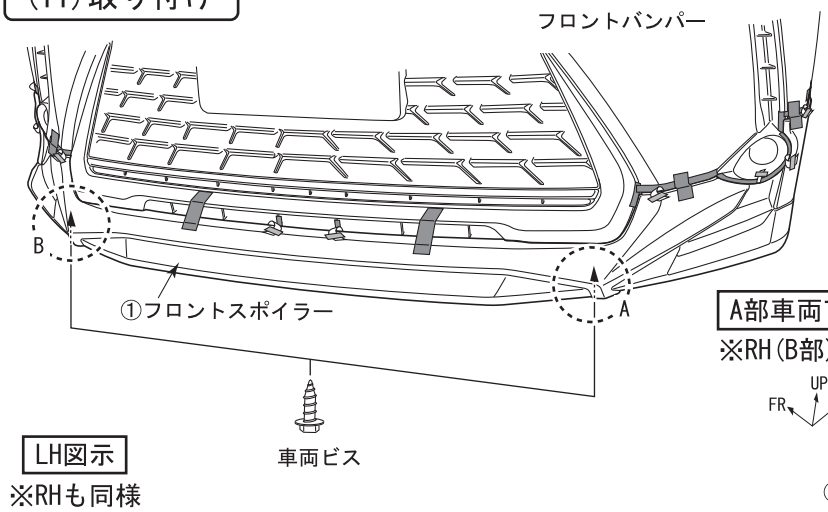
LH図示
※RHも同様

1. ①フロントスポイラーをフロントバンパーフェンダーアーチのマーク位置に合わせて仮あてをし、ガムテープで仮固定する。

アドバイス

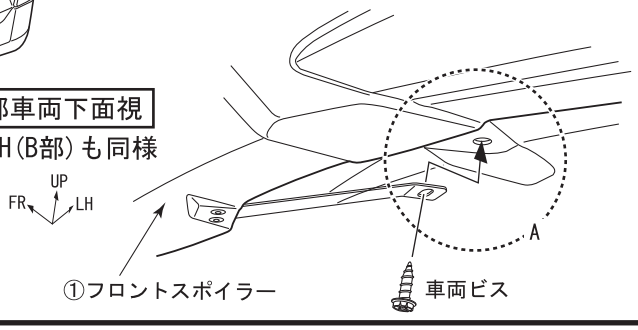
・位置決めの際、ホイールハウス部及びロアグリルコーナー部の左右のスキを均等にして下さい。

(11)取り付け



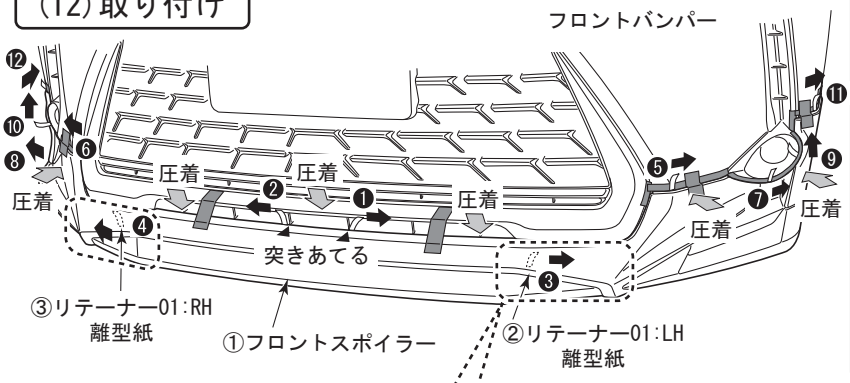
LH図示
※RHも同様

A部車両下面視
※RH(B部)も同様



1. ①フロントスポイラー下面、図示A,B部を車両ビスで仮固定する。
（左右各1カ所　計2カ所）

(12)取り付け



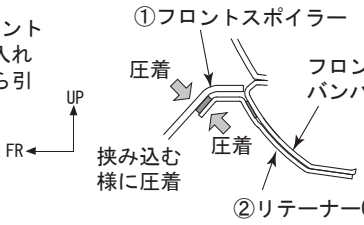
1. 両面テープ離型紙を図示❶～⓬の順に引き抜きながら圧着する。

アドバイス
・両面テープの圧着力は49N(5kgf)以上で行なって下さい。

重要

2. 浮き、剥がれ、傷等が無い事を確認し、**再圧着**する。
3. 全てのマスキングテープを剥がす。

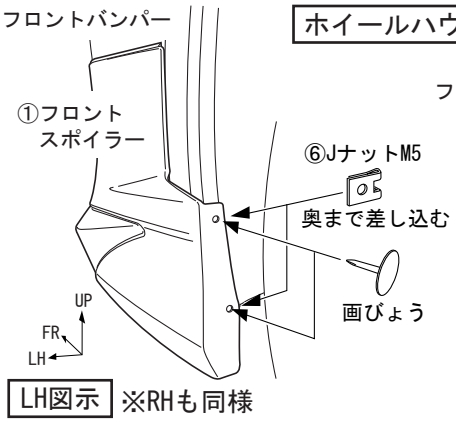
※ ❸❹ 部の離型紙は①フロントスポイラー下側から手を入れ挟み込む様に圧着しながら引き抜く



※金属BRKTがありますので、けがをしないよう注意して作業を行なって下さい。

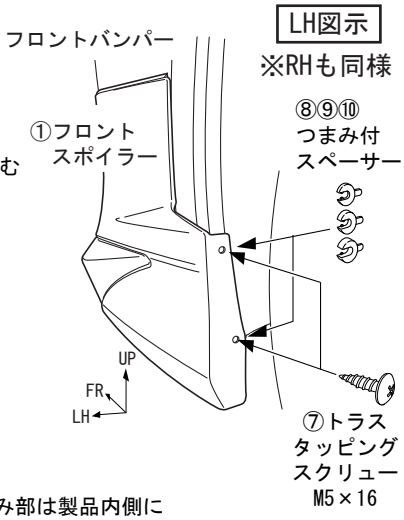
LH図示
※RHも同様

(13)取り付け



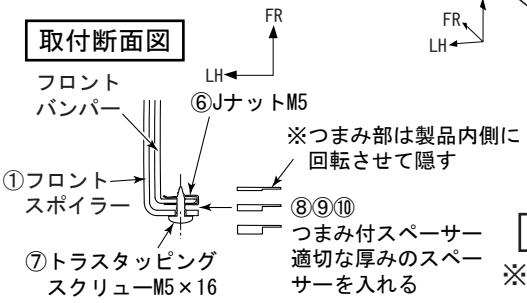
LH図示 ※RHも同様

ホイールハウス部詳細図



LH図示
※RHも同様

取付断面図



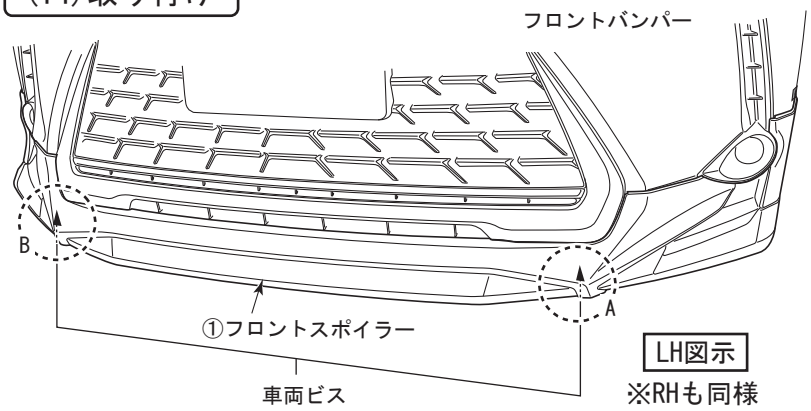
LH図示
※RHも同様

1. ①フロントスポイラーホイールハウス折り返し部の穴位置に合わせて、フロントバンパーに⑥JナットM5を取り付ける。
(左右各2カ所　計4カ所)
2. 図示部の穴位置中心に、ケガキ針又は画びょう等で下穴をあける。
(左右各2カ所　計4カ所)
3. ⑦トラスタッピングスクリューM5×16で仮固定する。
その際、①フロントスポイラーとフロントバンパーとの間に隙間がある場合は、適切な厚みのつまみ付スペーサーを入れる。
(左右各2カ所　計4カ所)
4. つまみ付スペーサーのつまみ部を①フロントスポイラー内側に回転させて隠す。
(左右各2カ所　計4カ所)

重要

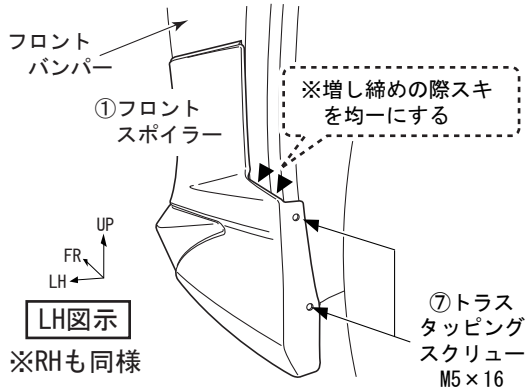
隙間が大きい場合はスペーサーを重ねて入れて下さい。隙間が空いた状態で固定するとフロントスポイラーを前方に押すことになり取付部に浮き、隙間が出る可能性があります。

(14)取り付け



LH図示
※RHも同様

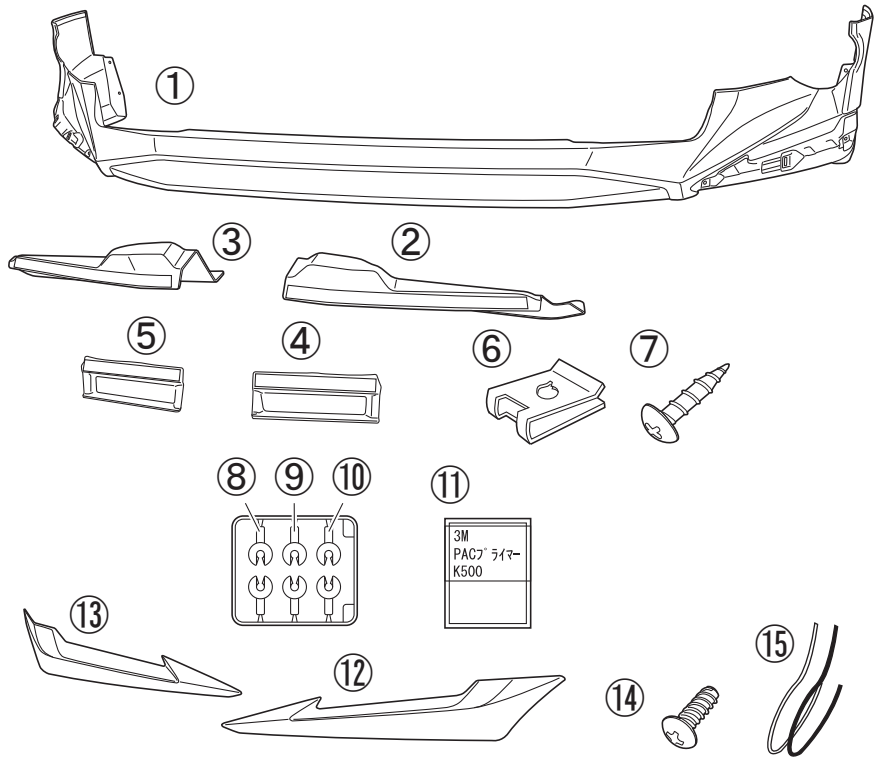
1. 全ての両面テープ接着面を３時間後に全て**本圧着**する。
2. 全てのビスを本締めする。
(6カ所)



LH図示
※RHも同様

フロントスポイラー素地品の塗装手順

構成部品



No.	品　　名	個数
①	フロントスポイラー	1
②	リテーナー01:LH	1
③	リテーナー01:RH	1
④	リテーナー02:LH	1
⑤	リテーナー02:RH	1
⑥	JナットM5	4
⑦	トラスタッピングスクリューM5×16	4
⑧	つまみ付スペーサー(1mm)	4
⑨	つまみ付スペーサー(2mm)	4
⑩	つまみ付スペーサー(3mm)	4
⑪	PACプライマーK500	1
⑫	メッキパーツLH	1
⑬	メッキパーツRH	1
⑭	トラスタッピングスクリューM4×10	4
⑮	エンドモール	ﾗｲﾄｸﾞﾚｰ：1 黒：1

⑮エンドモール推奨使用色

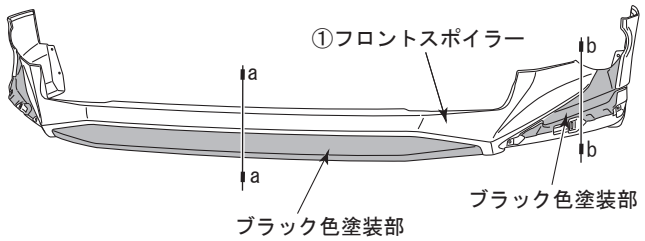
色番号	色 名 称	モール色	色番号	色 名 称	モール色	色番号	色 名 称	モール色
4Y1	ﾌﾞﾚｰｼﾞﾝｸﾞｶｰﾈﾘｱﾝｺﾝﾄﾗｽﾄﾚｲﾔﾘﾝｸﾞ	黒	085	ソニッククォーツ	ライトグレー	223	グラファイトブラックガラスフレーク	黒
4Y5	ソニックカッパー	黒	1H9	マーキュリーグレーマイカ	黒	3T2	マダーレッド	黒
6X4	テレーンカーキマイカメタリック	黒	1J4	プラチナムシルバーメタリック	黒	4X2	アンバークリスタルシャイン	黒
8Y6	セレスティアルブルーガラスフレーク	黒	1J7	ソニックチタニウム	黒	8X1	ヒートブルーコントラストレイヤリング	黒
083	ホワイトノーヴァガラスフレーク	ライトグレー	212	ブラック	黒	1L1	ソニッククロム	黒
						1L2	ソニックイリジウム	黒

(1) 塗装作業

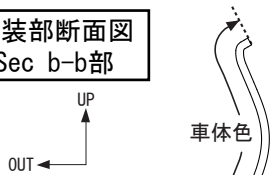
1. 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂を行なう。

アドバイス
- 脱脂は手早く行ない、十分溶剤を揮発させてから次の作業を行なって下さい。
- もし、ペーパー等で素材を研摩する場合は、必ずペーパーの番手を＃600以上で完了して下さい。

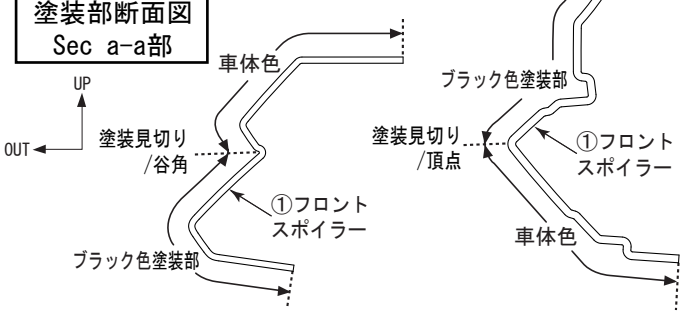
2. 製品に貼り付けてある両面テープ、ネオプレーンゴムをマスキングする。
3. 上塗り塗装を行なう。**(本品の材質はABSです。)**
   注記：上塗り用の塗料は**ウレタン系**をご使用下さい。
4. 図示部をブラックに塗装する際は、図示要領でマスキングする。
   ※ブラック塗装はブラック<212>で塗装して下さい。
   本体塗装色がブラック<212>の際は、塗り分けはありません。
5. 乾燥
   注記：乾燥温度は、成形樹脂の物性上、必ず**60℃以下**で乾燥させて下さい。



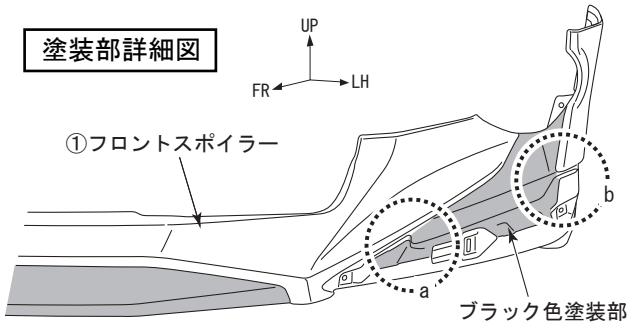
塗装部断面図
Sec b-b部



塗装部断面図
Sec a-a部

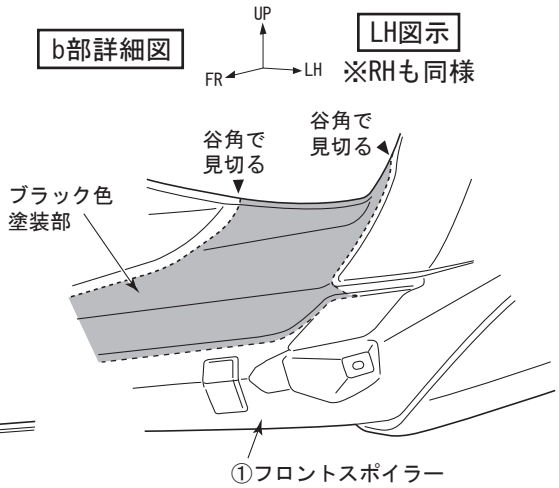


塗装部詳細図

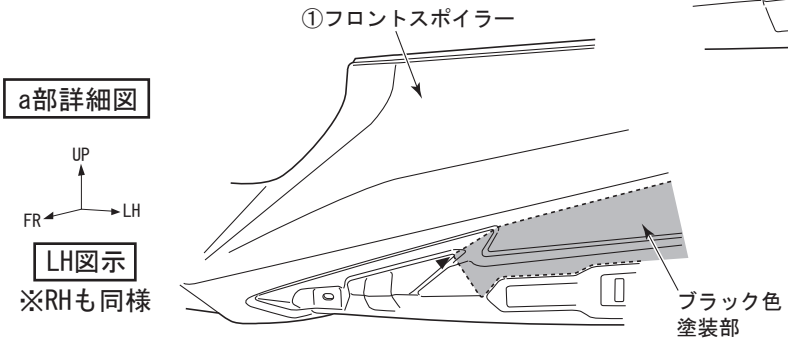


LH図示 ※RHも同様

b部詳細図



a部詳細図



(2) エンドモールの貼り付け作業

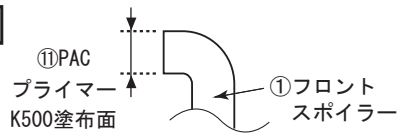
1. 塗装終了後⑮エンドモールを貼り付ける部分を脱脂し、⑪PACプライマーK500を塗布する。

アドバイス

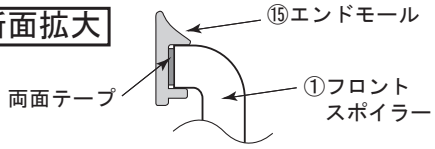
- ⑪PACプライマーK500は①フロントスポイラー取り付け時に再使用します。揮発性が高いので、速やかに袋に戻し揮発を抑えて下さい。
- ⑪PACプライマーK500は特に**白色塗装面を黄変**させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーは、アルコール等で拭き取って下さい。
- ⑪PACプライマーK500塗布後は、**常温で10分間以上**放置し乾燥させて下さい。

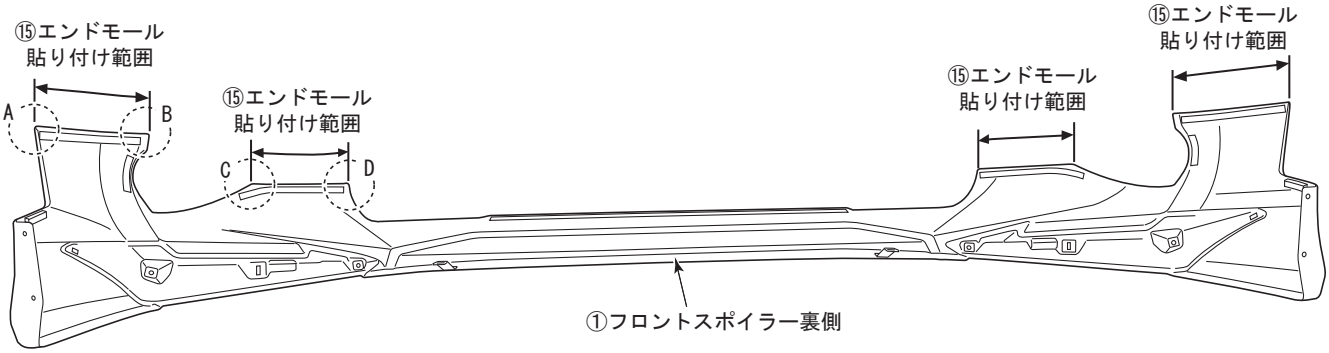
2. 下図の要領で⑮エンドモールを貼り付ける。

一般断面拡大

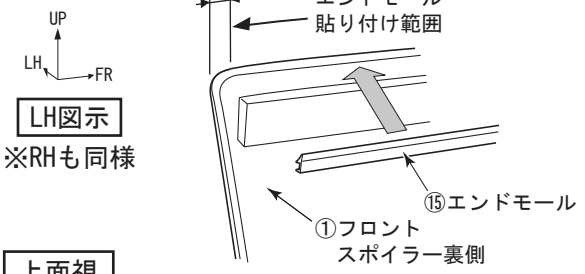


一般断面拡大

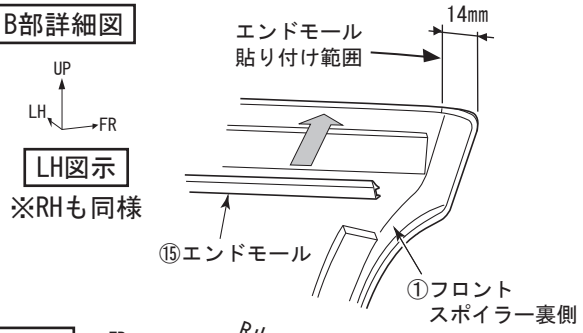




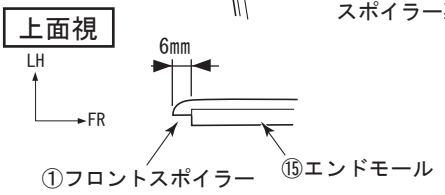
A部詳細図



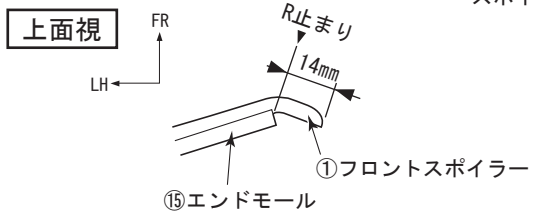
B部詳細図



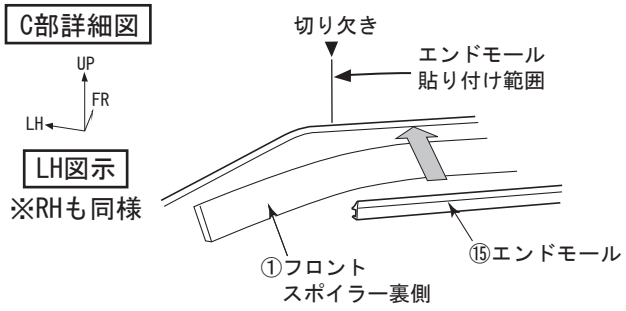
上面視



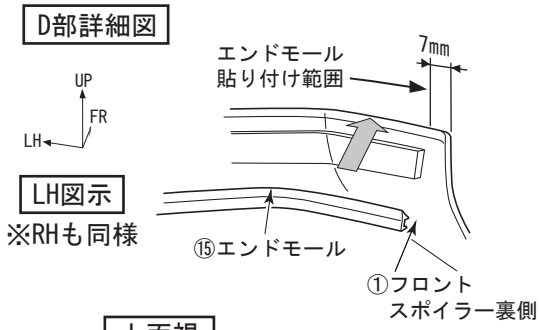
上面視



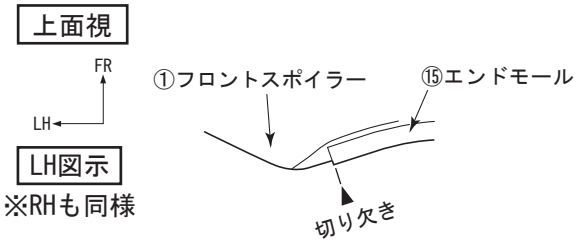
C部詳細図



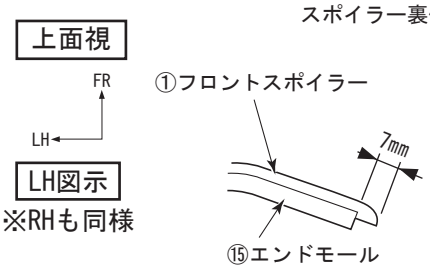
D部詳細図



上面視

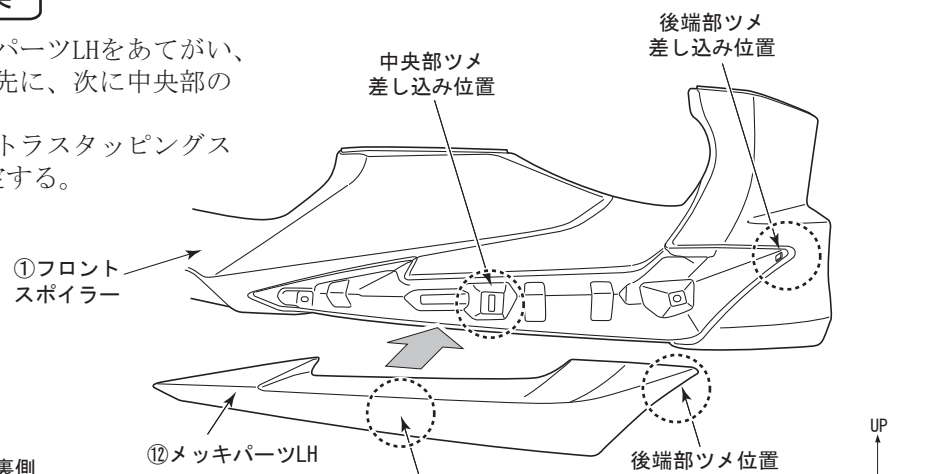


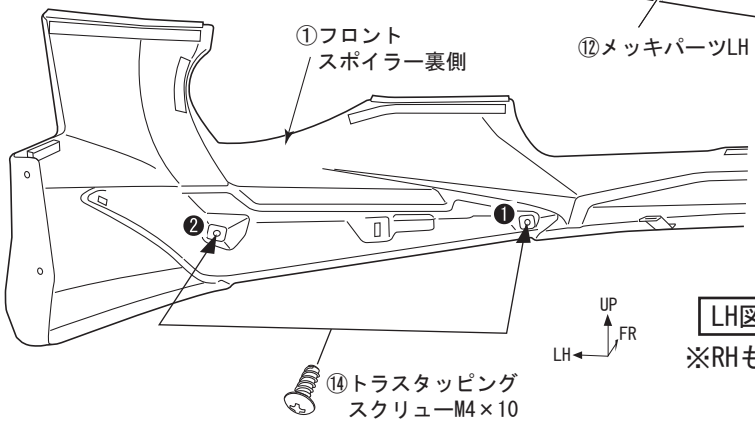
上面視



(3) メッキパーツの取り付け作業

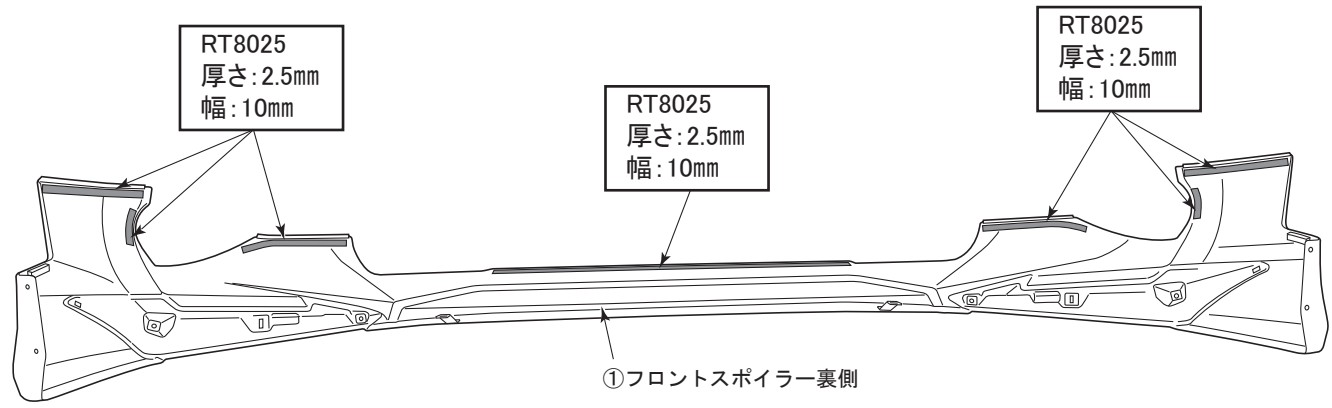
1. ①フロントスポイラーへ⑫メッキパーツLHをあてがい、⑫メッキパーツLH後端部のツメを先に、次に中央部のツメを差し込み仮固定する。
2. ①フロントスポイラー裏側から⑭トラスタッピングスクリューM4×10で ❶❷ の順に固定する。
   （左右各2カ所　計4カ所）

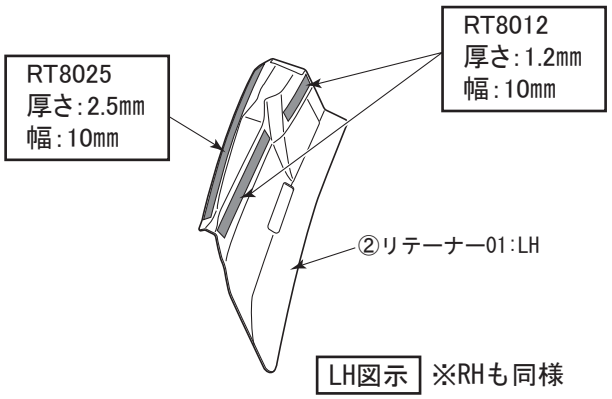




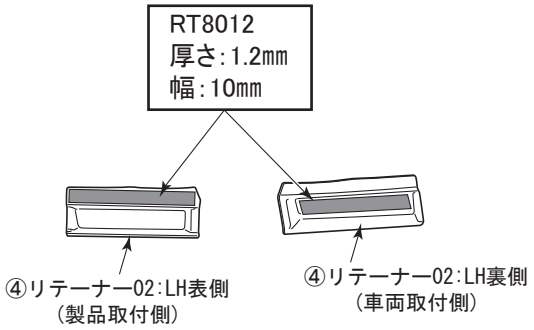
参 考

1. 補修キット(品番:D2539-58810,MSD80-76H01)を使用してフロントスポイラーの取り付けを行なう際は、下図を参考に両面テープを選択し、貼り付けて下さい。





LH図示 ※RHも同様



LH図示 ※RHも同様

株式会社 トヨタカスタマイジング＆ディベロップメント
https://www.modellista.co.jp
「お問合せ先」
モデリスタコールセンター　TEL 050-3161-1000

脱脂作業要領書

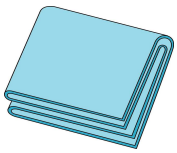
本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のＱＲコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

①エアロ取付準備・脱脂　（約 3 分）
②エアロ位置決め・取付・圧着（約 6 分）
③デカール準備・水貼り・圧着（約 4 分）
合計　約 13 分

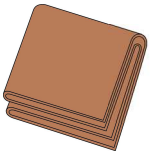
■　取付け時の脱脂作業に必要な工具等


水拭き用バケツ


合成セーム皮


脱脂剤用
スプレーボトル


ゴム手袋


DRY 用
ウエス


WET 用
ウエス


イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

■　脱脂作業上の注意事項

1．ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2．隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等は行わないで下さい。
　※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3．脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4．脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5．脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

⚠注　意・・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

アドバイス・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。
下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。
大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。
脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。
≪脱脂作業前に≫以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■　脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
  汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
  ※コーティング剤が残っていると両面テープはハガレます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■　脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。

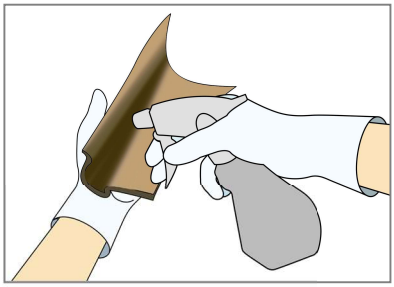

水拭き用バケツ


合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。


WET 用ウエス

※　ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。

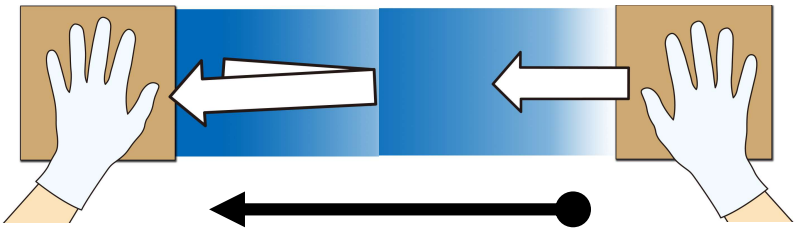


WET 用ウエスにスプレーボトルを５cm ほど離して、初回は１０回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。
以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で５回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】
脱脂剤を含ませたウエスで
１往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

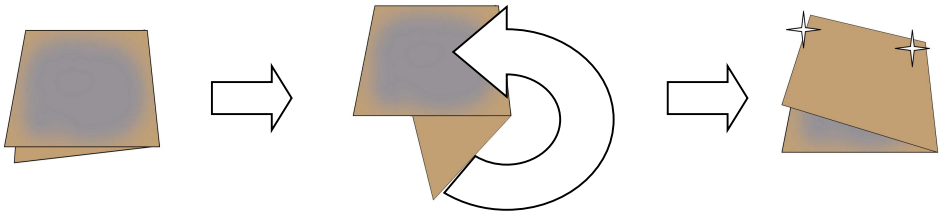
②【DRY 拭き】
DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



１ブロック６０ｃｍ程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。
範囲が広い場合は１ブロック毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる

WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。
（上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。）

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・ DRY 拭きを行ってください。



WET／DRY のウエス共に３～５ブロック毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。